

【第64回ラジオ番組審議会議事録】

1 開催日時

平成29年9月26日（木） 16時00分～16時55分

2 開催場所

BAN-BAN ネットワークス本社 1階会議室

3 委員の出席

委員総数 8名

出席委員数 8名

出席委員の氏名 壁 貴義 河合勝彦 川守真由美 木下準一郎 竹内茂雄
細田享子 本山政幸 若松千恵子 （敬称略・五十音順）

放送事業者側出席者名 山根直也 大竹良次 江村直樹 藤井良一

4 議題 「こども放送局」について

出演者：藤野孝教ほか、こども放送局に参加した小学生の皆さん

放送日：平成29年8月27日（日） 11時00分～12時30分

- ① 番組全体の感想をお聞かせください。
- ② 今後に期待することは何ですか。
- ③ その他、お気づきになったことがあればお願いします。

5 議事の概要

- ・番組審議は、事前に番組聴取の上、議題について話し合った。

6 議事の内容

- BAN 司会 それでは、本日の審議に入ります、まずは番組について担当課長よりご説明いたします。
- 担当課長 今回の「こども放送局」は、地域の小学生にもっとラジオに親しんでもらおうと企画し、駅前のびいぷらすスタジオを活用して、こども達を中心に企画から出演まで行うラジオ番組を目指し、3回の講習会を経て本番を迎えました。皆さんにお配りした資料の中の新聞記事は、参加したこどもさんが、ラジオ番組に参加した感想を新聞に投稿され、参加して良かったこと、番組はチームワークで作られているもので、2学期から役に立つとのコメントでした。
- BAN 司会 まずは、番組を聴いた感想をお聞かせください。
- A 委員 番組を通じて、こども独特な緊張感が伝わった。しかしサイコロトークの企画で、こども達だけでしゃべっている箇所が気になった。
- B 委員 親が普段聞けないこども達だけで会話をしている感じも面白かった。
- C 委員 こども達だけで企画したとの事、とてもがんばりを感じましたが、その一方で身内以外の方が聴く内容なのかと疑問も感じました。
一般受けする番組にするためには、局側も積極的に介入すべきだと思う。
- BAN 司会 そのあたりは、局側としてはどんな認識でしたか。
- 担当課長 まずはこども達に番組を作る楽しさを味わって欲しいということと、より多くの方に聴いていただき、次回のこども放送局に参加してもらえることが増えたらという思いもあります。
- D 委員 正直、こども達の会話にはついていけず、内容がさっぱり耳に入ってこない。こども達の意外性や新鮮味はあったかもしれません。
- E 委員 こども達のおしゃべりが、ハキハキとしてしっかりと受け応えできていたのも驚きでした。
- F 委員 こども放送局なのだから、もう少しこどもらしい選曲でもいいかもしれません。私たちの時代は童謡だったかな。
- G 委員 こどもの恋愛相談について、素直な受け応えでハプニングが無かったから残念。今のこども達が何を考えているか、リアルにわかりました。
- H 委員 こども達のおしゃべりのレベル差があり、クオリティの差が激しく感じた。
- BAN 司会 では、今後に期待することなどをお聞かせください。
- E 委員 委員からも出ましたが、一般リスナーに聞き入れてもらえる様にする為には既存の番組にコーナー枠として、短尺で入れてみたらどうでしょうか。楽しく聴けると思います。
- D 委員 小学生の恋愛？と思いましたが、正直に発言しているし、大人では言えない

素直なコメントで面白かったです。

E委員 ラジオドラマの構成をもう少し工夫した方が良かったのではないのでしょうか。自己紹介が間延びした感じがしました。

担当課長 その件につきましては、一部のお子さんが家族旅行で生放送当日には参加できず、ドラマについては録音で対応し、少し生放送との違和感があったかもしれません。

B委員 効果音について気になりましたが、こども達で入れたんですか。

担当課長 大人が対応しました。効果音の選曲はこども達が行い、編集は局側が対応しました。編集を担当したスタッフは苦労したと言っていました。

B委員 こども達は出演するだけでなく、こういった裏方を経験したいという子も多いのではないですか。

担当課長 実は、前回は裏方をした子もいたのですが、結局マイクに向かっておしゃべりをするので、今回は企画と出演者に絞り運営しました。

H委員 実は、この番組に少し関わりましたが、一度出たこどもさんからは、もう一度出たいという声もあります。OB会みたいな組織を作ってもいいのではないですか。

担当課長 そうですね。今後、続けて行う企画ですので、気運が盛り上がれば、OB会の番組作りをする機会もあってもいいかと思えます。

C委員 こども達が考えるテーマ自体は興味のそそることばかりでしたが、内容がとても浅かった。生放送というよりも録音にして、いいところをつまんで番組を面白くする工夫も必要ではないのでしょうか。

担当課長 そうですね。生放送を録音して、もう一度聴く機会を設け、いいところや悪いところの指摘を行うレビュー会があってもよかったですと思います。

E委員 こども達のクオリティは高かったけれど、藤野さんのパートで自己紹介してまた本編で自己紹介と、けっこう自己紹介が何度もあったので、もう少し番組の構成も考えてあげた方がいいのではないですか。

D委員 新しいリスナーさんが増える機会だったのでは？こども達のお友達や親族、ご近所の皆さんが、ラジオに触れるきっかけでリスナー層も広がったと思う。

E委員 変声期前のこども達ばかりで、男女の区別がつきにくかったので、参加対象を中学生や高校生、低学年の小学生まで広げた方が、バラエティ豊かになるのでは。周りで見ていた観客のギャ感や突っ込みがあっても面白い。

D委員 こども達にとって、この経験は一生忘れないものになったに違いない。普段生活していてラジオに出る機会も貴重だったと思います。

7 審議機関の答申又は改善意見に対して採った措置およびその年月日

なし

8 審議機関の答申又は意見を公表した場所における公表内容、方法、年月日

公表内容・・・審議の内容

公表方法

- ・事務所に備置き 平成29年10月10日（火）から
- ・番組「あさスパ!」において放送 平成29年10月10日（火）9時20分頃
- ・ホームページに掲載
平成29年10月10日（火）から

9 その他参考事項

なし